

<報道発表資料>

令和 8 年 1 0 月 5 日

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

「京都の銭湯どうするんか会議」第 2 回会議の開催

～物価高騰、設備老朽化、相次ぐ廃業。課題だらけの今、どうするんかを考える。～

京都市では、住民の健康増進や地域コミュニティの要でありながら、深刻な経営危機に直面する京都の銭湯の持続可能な未来に向けて、銭湯を取り巻くステークホルダーが多様な視点から対話する「京都の銭湯どうするんか会議」第 2 回会議を開催します。

【背景と目的】

京都の銭湯は、健康維持や防災、地域交流の拠点として重要な役割を担っていますが、現在は燃料高騰、後継者不足、設備の老朽化などにより存続の危機にあります。

こうした中、伝統ある大切な文化を次世代へ承継するため、銭湯関係者、大学、行政等が立場を超えて対話し、互いの知恵や技術を持ち寄りながら試行錯誤を繰り返す「共創型会議」として本会議を立ち上げ、科学的な効果検証を交えながら、持続可能な仕組みづくりを模索します。

【開催概要】

- 日 時 令和 8 年 1 0 月 9 日(金) 午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分
- 場 所 京都市役所 本庁舎 1 階 第 1、第 2、第 3 会議室
(〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 4 8 8)
- 出席者 (敬称略)
京都市長 松井 孝治
京都大学大学院医学研究科社会疫学分野教授 近藤 尚己
京都府公衆浴場業生活衛生同業組合 理事長 吉本 誠 他
- ファシリテーター (敬称略)
株式会社 よい根 代表取締役 前田 展広
- 内 容 (予定)
現在実施中の「子ども銭湯応援事業」の効果について、健康影響評価 (HIA) 手法を用いながら、グループワークを通じて楽しく影響項目に関する議論を行い、科学的に検討します。また、第 1 回会議で洗い出された銭湯が抱える課題をさらに深掘りし、主に利用者の視点から、京都の銭湯の価値と課題についてグループワークにより議論します。

● 傍 聴

(1) 定員 10名(先着順)

(2) 受付 当日の午後6時15分から6時25分まで会場にて傍聴受付を行います。

定員になり次第、受付を終了しますので、あらかじめ御了承ください。

※記者席は別途設けます。

● 主催：京都市保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課

協力：一般社団法人 安寧社会共創イニシアチブ

<お問合せ先>

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

電話：075-222-4272